

令和3年度 滋賀県看護研究発表会

令和3年12月9日(木) 9:30~12:30

滋賀県看護協会による「滋賀県看護研究発表会」では、10演題が発表されました。
今年度、びわこ学園医療福祉センター野洲から、発表いたしました。

演題: 強度行動障害支援に携わる職員の語りから見えたこと ~この先転職はないというほどのやりがいと導かれるまで~

発表者: 青木香苗 びわこ学園医療福祉センター野洲



3病棟係長
青木 香苗

青木香苗看護師は、びわこ学園医療福祉センター野洲 3病棟で係長として勤務されています。

病棟の経験も豊かで重症心身障害児看護師を取得され、職場においては適格な判断と柔軟な対応で職員の信頼も厚く、利用者さんに対しても真摯に向き合い、高い倫理観を持ってお一人おひとりをケアされています。

この度の研究は、コロナ禍もあり2年に渡り、熟考を重ねての内容です。この研究目的は、「職員の語りから強度行動障害支援を通して、行動上の問題がありコミュニケーションが難しい利用者に関わり始めた頃から現在に至るまでの時間の中でどのような思いを抱きながら利用者やその支援と向き合い、今に至っているのかを明らかにすること」とされています。これまで、ご自身が積み上げてこられた重症心身障害児・者との看護を職員の視点を通じて、まとめられた内容となっています。

是非、医療福祉センターお越しください。看護を語りましょう。

3病棟 看護課長 から ひ・と・こ・と



青木係長は強度行動障害支援をとおして、利用者ひとり一人の魅力とその支援のむずかしさや心の通う瞬間の喜びを感じながら日々看護を追求しています。先輩たちから受け継がれた看護をどのように後輩たちの伝え進化させていくか、また、日頃の看護を行う中で、どのように障害者看護の魅力伝えていくかを青木係長はじめスタッフと共に取り組んでいるところです。

3病棟 看護課長 中村麻子